

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)

【公開番号】特開 2014-239752 (P2014-239752A)

【公開日】平成 26 年 12 月 25 日 (2014.12.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-071

【出願番号】特願 2013-122976 (P2013-122976)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 30 日 (2015.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 図柄変動ゲームを実行する第 1 表示装置と、
第 2 図柄変動ゲームを実行する第 2 表示装置と、
第 1 始動入賞口に遊技球が入球したことを契機に実行が保留されうる第 1 図柄変動ゲームを特定可能な保留情報を記憶する第 1 記憶手段と、
第 2 始動入賞口に遊技球が入球したことを契機に実行が保留されうる第 2 図柄変動ゲームを特定可能な保留情報を記憶する第 2 記憶手段と、
前記第 2 始動入賞口が開状態及び閉状態を取り得るように開閉動作する開閉部材と、
前記第 2 始動入賞口へ遊技球を入球させやすくする入球率向上状態を付与する入球率向上状態付与手段と、を備え、
前記第 1 図柄変動ゲーム及び前記第 2 図柄変動ゲームの実行が共に保留されている場合、前記第 2 図柄変動ゲームが優先的に実行されるように構成されており、
前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、はずれとなる第 1 図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第 2 図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短いことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合であって、保留情報に基づき第 1 図柄変動ゲームの第 1 保留記憶数と第 2 図柄変動ゲームの第 2 保留記憶数が同じであると特定される場合、はずれとなる第 1 図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第 2 図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短いことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、保留情報により特定される保留記憶数に係わらず、はずれとなる第 1 図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第 2 図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短いことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、リーチ演出なしではずれとなる第 1 図柄変動ゲームの演出時間の平均は、リーチ演出なしではずれとなる

第2図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短いことを特徴とする請求項1～請求項3のうちいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記問題点を解決する遊技機は、第1図柄変動ゲームを実行する第1表示装置と、第2図柄変動ゲームを実行する第2表示装置と、第1始動入賞口に遊技球が入球したことを契機に実行が保留されうる第1図柄変動ゲームを特定可能な保留情報を記憶する第1記憶手段と、第2始動入賞口に遊技球が入球したことを契機に実行が保留されうる第2図柄変動ゲームを特定可能な保留情報を記憶する第2記憶手段と、前記第2始動入賞口が開状態及び閉状態を取り得るように開閉動作する開閉部材と、前記第2始動入賞口へ遊技球を入球させやすくする入球率向上状態を付与する入球率向上状態付与手段と、を備え、前記第1図柄変動ゲーム及び前記第2図柄変動ゲームの実行が共に保留されている場合、前記第2図柄変動ゲームが優先的に実行されるように構成されており、前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、はずれとなる第1図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第2図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短いことを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記遊技機において、前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合であって、保留情報に基づき第1図柄変動ゲームの第1保留記憶数と第2図柄変動ゲームの第2保留記憶数が同じであると特定される場合、はずれとなる第1図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第2図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短くしてもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記遊技機において、前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、保留情報により特定される保留記憶数に係わらず、はずれとなる第1図柄変動ゲームの演出時間の平均は、はずれとなる第2図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短くしてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記遊技機において、前記入球率向上状態付与手段により入球率向上状態が付与された場合、リーチ演出なしでははずれとなる第1図柄変動ゲームの演出時間の平均は、リーチ演出なしでははずれとなる第2図柄変動ゲームの演出時間の平均よりも短くしてもよい。